



自衛隊埼玉地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCES SAITAMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

自衛隊合格者交流会の開催



埼玉県地方協力本部（本部長 山下 空佐）は、十一月二十三日、埼玉地本浦和合同庁舎にて一般曹候補生及び自衛官候補生試験に合格した方を対象に交流会を行った。これは春の入隊までの期間、自衛隊での生活や入隊に不安な気持ちを抱えたまま過ごすことのないよう同期となる者同士の交流の場を設けて前向きに準備が進められるようにと願いを込めて企画したものである。企画した担当は参加者が集まってくれるか、交流会そのものが盛り上がり上がってくれるか不安があったが、13名の参加者を迎え、当初緊張した様子の参加者も会が終わるころには顔がほころんだ様子だった。

実施した内容は、各自衛隊の概要説明、レクレーション要素を含んだ自己紹介、ロープワーク、毛布のたたみかた体験、グループワークでNASAゲーム、レクレーションの自己紹介では、隣の人の名前を記憶する目的で、自分の名前を言う前に隣の人の名前を言うという形で進めたところ、参加者全員が隣の人の名前を記憶し、答え合わせでは、次々と隣の人の名前を覚えてくれた。また、声を出さずに身振り手振りで誕生日順に並ぶというゲーム的なもので、お互いの誕生日を知り、ぐっと距離を縮めた様子だった。ロープワークや毛布たたみの体験型では、参加者同士協力し合う様子も見られた。グループワークでは、話し合う時間を通して、意見を交わす場面もあり、交流が深まっていた。会の途中や終了し浦和地方合同庁舎をあとにする際、自然と会話を始める様子も見られ交流会の効果を実感することができた。懇談会では多くの質問が出され、回答を得た参加者は安心した様子だった。埼玉地本は引き続き様々な内容で交流会を実施していきたいとしている。

埼玉地方協力本部（本部長 山下 空佐）は、十一月二十三日、埼玉地本浦和合同庁舎にて一般曹候補生及び自衛官候補生試験に合格した方を対象に交流会を行った。これは春の入隊までの期間、自衛隊での生活や入隊に不安な気持ちを抱えたまま過ごすことのないよう同期となる者同士の交流の場を設けて前向きに準備が進められるようにと願いを込めて企画したものである。企画した担当は参加者が集まってくれるか、交流会そのものが盛り上がり上がってくれるか不安があったが、13名の参加者を迎え、当初緊張した様子の参加者も会が終わるころには顔がほころんだ様子だった。

実施した内容は、各自衛隊の概要説明、レクレーション要素を含んだ自己紹介、ロープワーク、毛布のたたみかた体験、グループワークでNASAゲーム、レクレーションの自己紹介では、隣の人の名前を記憶する目的で、自分の名前を言う前に隣の人の名前を言うという形で進めたところ、参加者全員が隣の人の名前を記憶し、答え合わせでは、次々と隣の人の名前を覚えてくれた。また、声を出さずに身振り手振りで誕生日順に並ぶというゲーム的なもので、お互いの誕生日を知り、ぐっと距離を縮めた様子だった。ロープワークや毛布たたみの体験型では、参加者同士協力し合う様子も見られた。グループワークでは、話し合う時間を通して、意見を交わす場面もあり、交流が深まっていた。会の途中や終了し浦和地方合同庁舎をあとにする際、自然と会話を始める様子も見られ交流会の効果を実感することができた。懇談会では多くの質問が出され、回答を得た参加者は安心した様子だった。埼玉地本は引き続き様々な内容で交流会を実施していきたいとしている。

吉川美南駅内への新規ラック設置

埼玉地本は、今後も可能な限り、あらゆる場面で好機と捉え、情報発信等のための開拓や調整を積極的に行い、募集基盤の醸成・情報等の獲得に繋がるよう取り組んでいく。

吉川美南駅は、今後可能な限り、あらゆる場面で好機と捉え、情報発信等のための開拓や調整を積極的に行い、募集基盤の醸成・情報等の獲得に繋がるよう取り組んでいく。

埼玉地方協力本部朝霞地域事務所（所長 澤谷 陸佐）は、十二月一日、埼玉県吉川市のJR武蔵野線吉川美南駅に募集パンフレット等ラックを初めて設置した。

本駅は、二〇二二年三月に開業し、本年度開業十周年を迎える比較的新しい駅である。一日の平均乗降者数は約五千人程度とさほど多くはないものの、開業時から約三倍に激増しており、今後増加が予想されている。

このような増加状況を上番時から注視していた担当広報官の本橋 二陸曹は、丁寧に粘り強く調整を継続し、今回のラック設置の許可をいただくことができたものである。

今後は、募集に係るパンフレットや自衛隊の理解促進のためのパンフレット等を常時設置することから、駅利用者からの各種情報等の広がりも期待をしている。



次年度幹候受験者に対する相談会実施



自衛隊埼玉地方協力本部さいたま地域事務所（所長 畑生 3佐）は、12月2日（木）、次年度の一般幹部候補生受験希望者に対して相談会を実施した。

本相談会は、次年度に一般幹部候補生の受験を希望している方から、今年度の試験に合格した方（海上）試験合格者から試験に対する準備、心構え及び幹部候補生学校の様子を伺いたい。との強い要望を受け、一般幹部候補生合格者（海上）の江田島での幹部候補生学校研修が終わったタイミングを受けて実施した。相談会では、一般幹部候補生合格者から試験に関する対策、傾向、心構えなどの他に、幹部候補生学校研修で体験した学校の雰囲気、教官、学生、生の声を聞くことにより、イメージできたことなど約2時間の間、質問に対して熱心に回答された。

本相談会終了後、受験希望者からは「次年度の試験に対して、自信を持って準備することができるとともに、幹部自衛官のやりがいや大変さ、カッコ良さを再認識出来た。」との感想が聞かれた。

事務所としても各種試験に対して、合格者へのフォロー及び受験希望者に対する対応について、全力で取り組んでいくことを伝えると、2人ともこやかに事務所を後にした。

埼玉地方協力本部は今後も各種試験に対する合格者へのフォロー及び受験希望者に対する、二つズに合った効果的な説明などを実施して、受験者増大につなげていくとしている。